

岡山県公報

発行
岡山県



目次

担当課（室）

【人事委員会】

- 平成二十七年岡山県職員B採用試験及び市町村立小・中学校事務職員採用試験の実施
- 平成二十七年第二回岡山県警察官採用試験及び岡山県警察行政職員B採用試験の実施

人事委員会

”

目次

担当課（室）

平成27年7月9日 岡山県公報 号外

◎岡山県人事委員会公示第四号

平成二十七年年度岡山県職員B採用試験及び市町村立小・中学校事務職員採用試験を次のとおり実施する。

平成二十七年七月九日

岡山県人事委員会委員長 森 義 郎

一 試験区分、採用予定者数並びに主な勤務先及び職務内容

1 岡山県職員B

試験区分	採用予定者数	主な勤務先及び職務内容
事務	九名	知事部局（本庁、県民局等）、教育委員会（教育庁、県立学校等）等において、事務に従事する。
土木	一名	知事部局（本庁、県民局等）において、道路、河川、港湾、都市計画等の事業に関する企画、設計、施工管理等の専門的業務に従事する。

2 市町村立小・中学校事務職員

試験区分	採用予定者数		主な勤務先及び職務内容
	A	B	
小・中学 校事務	十名	九名	市町村立小・中学校等（岡山市立であるものを除く。）において、事務に従事する。

二 受験資格

1 岡山県職員B

平成六年四月二日から平成十年四月一日までに生まれた者。ただし、次のいずれかに該当する者は、受験することができない。

- (1) 学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）による大学（短期大学を除く。）を

平成27年7月9日 岡山県公報 号外

卒業した者又は平成二十八年三月三十一日までに卒業見込みの者

(2) 岡山県人事委員会が、(1)に該当する者と同等の資格があると認める者

2 市町村立小・中学校事務職員

A区分

昭和六十年四月二日から平成六年四月一日までに生まれた者

B区分

平成六年四月二日から平成十年四月一日までに生まれた者

3 次のいずれかに該当する者は、1又は2に該当する者であっても受験することができない。

(1) 日本の国籍を有しない者

(2) 地方公務員法（昭和二十五年法律第二百六十一号）第十六条各号のいずれかに該当する者

三 試験の方法

試験は、第一次試験及び第二次試験とし、第二次試験は、第一次試験の合格者について行う。

1 第一次試験

試験区分	種目	内容
土木 事務 小・中学 校事務	教養試験 適性検査	高等学校卒業程度の一般的知識及び知能について、択一式による筆記試験を行う。 性格、心理等について検査を行う。
専門試験	教養試験	数学・物理・情報技術基礎、土木基礎力学（構造力学、水理学、土質力学）、土木構造設計、測量、社会基盤工学、土木施工等について、択一式による筆記試験を行う。

平成27年7月9日 岡山県公報 号外

	適性検査
性格、心理等について検査を行う。	

2 第二次試験

(1) 口述試験

個別面接により行う。

(2) 作文試験

表現力、理解力、構成力、企画力等について記述試験を行う。

四 試験の期日及び試験会場

1 第一次試験

試験の期日	試験会場
平成二十七年九月二十七日（日曜日）	岡山市北区津島中三丁目一番一号 岡山大学文・法・経済学部講義棟

2 第二次試験

試験の期日	試験会場
平成二十七年十月三十日（金曜日） 平成二十七年十月三十一日（土曜日） から同年十一月三日（火曜日）までの うち指定する日（第一次試験の合格者 に対して、直接通知する。）	岡山市北区京山一丁目九番一号 岡山県自治研修所

五 合格者の発表

岡山県人事委員会事務局の掲示板に次のとおり掲示し、岡山県人事委員会事務局のホームページにも掲載するとともに、合格者に対しては、直接通知する。

区分	発表の期日	内容
第一次試験	平成二十七年十月十四日(水曜日)	合格者の受験番号
第二次試験	平成二十七年十一月十八日(水曜日)	合格者の受験番号

六 採用及び採用後の給与

1 採用

- (1) 第二次試験の合格者は、合格決定後直ちに、試験区分ごとに成績順に採用候補者名簿に登載する。
- (2) 採用者は、任命権者からの請求に応じて、岡山県人事委員会が採用候補者名簿の登載順に提示した者の中から、任命権者が決定する。なお、採用時期は、原則として、平成二十八年四月一日とする。

2 給与

- (3) 採用候補者名簿の有効期間は、原則として、名簿登載の日から一年とする。
- (1) 平成二十七年四月採用者(新卒者)の給料月額は、一四八、六〇〇円である。
- (2) 諸手当として、扶養手当、通勤手当、住居手当、期末手当、勤勉手当等が支給される。

七 受験手続

- 1 試験を受けようとする者は、所定の受験申込書を岡山県人事委員会事務局(岡山市北区内山下二丁目五番七号丸の内会館三階)に提出すること。
- 2 受験申込書は、平成二十七年七月十六日(木曜日)から同年八月十九日(水曜日)までの期間中(土曜日、日曜日及び祝日を除く。)、八時三十分から十七時十五分まで、岡山県人事委員会事務局において受け付ける。なお、郵送の場合にあっては、同日までの消印のあるものは、受け付ける。

- 3 インターネットによる受験申込みは、平成二十七年七月十六日(木曜日)から同年八月十二日(水曜日)までの期間中、岡山県電子申請サービスにおいて受け付ける。

八 その他

- 1 試験の実施方法その他試験に関する事項については、受験案内に記載する。
- 2 受験申込書及び受験案内は、岡山県人事委員会事務局等で交付する。なお、郵便で請求する場合は、百四十円分の切手を貼った返信用封筒を必ず同封すること。また、岡山県人事委員会事務局のホームページからもダウンロードすることができる。
- 3 受験資格の有無及び受験申込書の記載事項を確認するため、必要に応じて、証明書等の提出を求めることがある。
- 4 六1(1)の採用候補者名簿に記載された場合であっても、受験申込書等の提出書類の記載事項（インターネットによる受験申込みの場合の入力事項を含む。）に虚偽のものがあると認められるときは、採用候補者名簿から当該者を削除する。

平成27年7月9日 岡山県公報 号外

◎岡山県人事委員会公示第五号

平成二十七年年度第二回岡山県警察官採用試験及び岡山県警察行政職員B採用試験を次のとおり実施する。

平成二十七年七月九日

岡山県人事委員会委員長 森 義 郎

一 試験区分、採用予定者数並びに主な勤務先及び職務内容

試験区分	警察官A		警察官B		採用予定者数	主な勤務先及び職務内容
	男性	女性	男性	女性		
警察官A(男性) 警察官A(女性)	二十六名	四名	三十九名	七名	二名	警察本部、警察署等において、個人の生命、身体及び財産の保護に当たり、犯罪の予防、鎮圧及び捜査、被疑者の逮捕、交通の取締りその他公共の安全と秩序を維持する職務に従事する。
警察行政職員B					二名	警察本部、警察署等において、予算・経理、庶務、統計、警察施設の維持管理、交通管制、運転免許事務、犯罪捜査の支援等の警察運営に必要な様々な業務に従事する。

二 受験資格

1 学歴、年齢及び性別

試験区分	受験資格
警察官A(男性) 警察官A(女性)	昭和五十七年四月二日以降に生まれた者で、次のいずれかに該当するもの (1) 学校教育法(昭和二十二年法律第二十六号)による大

	<p>学（短期大学を除く。）を卒業した者又は平成二十八年三月三十一日までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 岡山県人事委員会が、(1)に該当する者と同等の資格があると認める者</p>
<p>警察官B(男性) 警察官B(女性)</p>	<p>昭和五十七年四月二日から平成十年四月一日までに生まれた者。ただし、次のいずれかに該当する者は、受験することができない。</p> <p>(1) 学校教育法による大学（短期大学を除く。）を卒業した者又は平成二十八年三月三十一日までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 岡山県人事委員会が、(1)に該当する者と同等の資格があると認める者</p>
<p>警察行政職員B</p>	<p>平成六年四月二日から平成十年四月一日までに生まれた者。ただし、次のいずれかに該当する者は、受験することができない。</p> <p>(1) 学校教育法による大学（短期大学を除く。）を卒業した者又は平成二十八年三月三十一日までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 岡山県人事委員会が、(1)に該当する者と同等の資格があると認める者</p>

2 次のいずれかに該当する者は、1に該当する者であっても受験することができない。

- (1) 日本の国籍を有しない者
- (2) 地方公務員法（昭和二十五年法律第二百六十一号）第十六条各号のいずれかに該当する者

三 試験の方法

試験は、第一次試験及び第二次試験とし、第二次試験は、第一次試験の合格者につ

平成27年7月9日 岡山県公報 号外

1 第一次試験
 いて行う。

					警察官A(男性) 警察官A(女性)	試験区分
					論文試験	種目
					適性検査	
					体力試験	
					反復横跳び、上体起こし、握力及び二〇メートルシャツトルランを行う。	
項目	反復横跳び	上体起こし	握力	トルシャツ		内容
警察官(男性)	二〇秒間に四回以上	三〇秒間に二回以上	左右平均三七キログラム以上	四三回以上		大学卒業程度の一般的知識及び知能について択一式による筆記試験を行う。
警察官(女性)	二〇秒間に四回以上	三〇秒間に一回以上	左右平均二四キログラム以上	二五回以上		
					表現力、理解力、構成力、企画力等について記述試験を行う。	
					性格、心理等について検査を行う。	

			資格加 点					身体検査 1		
剣 道	柔 道	分 野	七1の受験申込書の提出の際に証明書類の写しを添えて申請のあった次に掲げる資格・免許・検定について、当該証明書類の原本の確認により、警察業務に資する専門的技能及び知識について行う。	指及び 関節運動	職務遂行に支障のないこと。	体 重	身 長	項 目	職務遂行に必要な身体状態かどうかについて行う。	トル ラン
二段以上（一般財団法人全日	二段以上（公益財団法人講道館の段位に限る。）	資格・免許・検定				ム以上 四七キログラム	一六〇センチ メートル以上	警察官（男性）		

平成27年7月9日 岡山県公報 号外

情報処理	財務	韓国語	中国語	英語	
情報処理技術者試験（経済産	日商簿記検定試験二級以上	韓国語能力試験四級以上 ハングル能力検定試験準二級以上	中国語検定試験三級以上 漢語水平考試四級以上かつ一八〇点以上（平成二十一年十二月十三日以前に実施された試験にあつては、三級以上） TECC四〇〇点以上	C級以上 国際連合公用語英語検定試験 TOEFL（iBT）四八点以上 TOEFL（CBT）一四〇点以上 TOEFL（PBT）四六〇点以上 （によるものを除く。）	本剣道連盟の段位に限る。）

平成27年7月9日 岡山県公報 号外

							警察官B(男性) 警察官B(女性)															
							教養試験															
							作文試験															
							適性検査															
							体力試験															
<p>反復横跳び、上体起こし、握力及び二〇メートルシャトルランを行う。</p>							<p>高等学校卒業程度の一般的知識及び技能について択一式による筆記試験を行う。</p>															
<table border="1"> <tr> <td>項目</td> <td>警察官(男性)</td> <td>警察官(女性)</td> </tr> <tr> <td>反復横跳び</td> <td>二〇秒間に四回以上</td> <td>二〇秒間に四〇回以上</td> </tr> <tr> <td>上体起こし</td> <td>三〇秒間に二回以上</td> <td>三〇秒間に一回以上</td> </tr> <tr> <td>握力</td> <td>左右平均三七キログラム以上</td> <td>左右平均二四キログラム以上</td> </tr> <tr> <td>二〇メートルシャトルラン</td> <td>四三回以上</td> <td>二五回以上</td> </tr> </table>							項目	警察官(男性)	警察官(女性)	反復横跳び	二〇秒間に四回以上	二〇秒間に四〇回以上	上体起こし	三〇秒間に二回以上	三〇秒間に一回以上	握力	左右平均三七キログラム以上	左右平均二四キログラム以上	二〇メートルシャトルラン	四三回以上	二五回以上	<p>業省認定の国家資格) 合格者</p>
項目	警察官(男性)	警察官(女性)																				
反復横跳び	二〇秒間に四回以上	二〇秒間に四〇回以上																				
上体起こし	三〇秒間に二回以上	三〇秒間に一回以上																				
握力	左右平均三七キログラム以上	左右平均二四キログラム以上																				
二〇メートルシャトルラン	四三回以上	二五回以上																				

			資格加 点						身体検査1
			七1の受験申込書の提出の際に証明書類の写しを添えて申請のあった次に掲げる資格・免許・検定について、当該証明書類の原本の確認により、警察業務に資する専門的技能及び知識について行う。						職務遂行に必要な身体状態かどうかについて行う。
剣道	柔道	分野		項目	身長	体重	指及び関節運動	警察官(男性)	
二段以上(一般財団法人全日本剣道連盟の段位に限る。)	二段以上(公益財団法人講道館の段位に限る。)	資格・免許・検定	ム以上	一六〇センチメートル以上	四七キログラム	職務遂行に支障のないこと。	ム以上	一五〇センチメートル以上	
			ム以上	四三キログラム					

情報処理	財務	韓国語	中国語	英語
情報処理技術者試験（経済産業省認定の国家資格）合格者	日商簿記検定試験二級以上	ハングル能力検定試験準二級以上 韓国語能力試験四級以上	中国語検定試験三級以上 漢語水平考試四級以上かつ一八〇点以上（平成二十一年十二月十三日以前に実施された試験にあつては、三級以上） TECC四〇〇点以上	実用英語技能検定（英検）二級以上 TOEIC四七〇点以上（団体特別受験制度（IPテスト）によるものを除く。） TOEFL（PBT）四六〇点以上 TOEFL（CBT）一四〇点以上 TOEFL（iBT）四八点以上 国際連合公用語英語検定試験C級以上

四 試験の期日及び試験会場

1 第一次試験

(1) 教養試験、論文試験又は作文試験、適性検査及び資格加算

項目	警察官（男性）	両眼とも裸眼視力が〇・六以上又は矯正視力が一・〇以上	色覚	職務遂行に支障のないこと。	聴力	職務遂行に支障のないこと。	精密検査	職務遂行に支障のない身体状態であること。
	警察官（女性）							

2 第二次試験

(1) 口述試験

集団面接及び個別面接により行う。

(2) 身体検査2

警察官A及び警察官Bについて、所定の身体検査書の提出により、職務遂行に必要な身体状態の検査を行う。検査費用は、受験者の負担とする。

警察行政職員B		
適性検査	作文試験	教養試験
性格、心理等について検査を行う。	表現力、理解力、構成力、企画力等について記述試験を行う。	高等学校卒業程度の一般的知識及び技能について択一式による筆記試験を行う。

平成27年7月9日 岡山県公報 号外

試験の期日	平成二十七年九月二十日（日曜日）
試験会場	岡山市北区津島中三丁目一番一号 岡山大学文・法・経済学部講義棟 岡山市北区津島中三丁目一番一号 岡山大学環境理工学部棟

(2) 体力試験及び身体検査1

試験の期日	平成二十七年九月十九日（土曜日）及び同月二十一日（月曜日）から同月二十三日（水曜日）までのうち指定する日（受験申込者に対して、直接通知する。）
試験会場	岡山市北区玉柏二七五三 岡山県警察学校

2 第二次試験（口述試験及び身体検査2）

口述試験の期日	平成二十七年十一月二十日（金曜日）から同月二十五日（水曜日）までのうち指定する日（第一次試験の合格者に対して、直接通知する。）
口述試験会場	岡山市北区玉柏二七五三 岡山県警察学校

五 合格者の発表

岡山県人事委員会事務局の掲示板に次のとおり掲示し、岡山県人事委員会事務局のホームページにも掲載するとともに、合格者に対しては、直接通知する。

平成27年7月9日 岡山県公報 号外

区分	発表の期日	内容
第一次試験	平成二十七年十月十四日(水曜日)	合格者の受験番号
第二次試験	平成二十七年十二月九日(水曜日)	合格者の受験番号

六 採用及び採用後の給与

1 採用

- (1) 合格者は、合格決定後直ちに、試験区分ごとに成績順に採用候補者名簿に登載する。
- (2) 採用者は、任命権者（岡山県警察本部長をいう。以下同じ。）からの請求に応じて、岡山県人事委員会が採用候補者名簿の登載順に提示した者の中から、任命権者が決定する。なお、採用時期は、原則として、平成二十八年四月一日とする。
- (3) 採用候補者名簿の有効期間は、原則として、名簿登載の日から一年とする。

2 給与

- (1) 平成二十七年四月採用者（新卒者）の給料月額は、次のとおりである。

試験区分	学歴	給料月額
警察官 A	大学卒業	二〇八、一〇〇円
	短期大学卒業	一九〇、三〇〇円
警察官 B	大学卒業	一五九、二〇〇円
	短期大学卒業	一四八、六〇〇円
警察行政職員 B	大学卒業	一九〇、三〇〇円
	短期大学卒業	一七五、三〇〇円

- (2) 諸手当として、扶養手当、通勤手当、住居手当、期末手当、勤勉手当等が支給される。

七 受験手続

- 1 試験を受けようとする者は、所定の受験申込書を岡山県警察本部警務部警務課（岡

山市北区内山下二丁目四番六号)に提出すること。

2 受験申込書は、平成二十七年七月九日(木曜日)から同年八月十九日(水曜日)までの期間中(土曜日、日曜日及び祝日を除く。)、八時三十分から十七時十五分まで、岡山県警察本部警務部警務課において受け付ける。なお、郵送の場合にあつては、同日までの消印のあるものは、受け付ける。

3 インターネットによる受験申込みは、平成二十七年七月九日(木曜日)から同年八月十二日(水曜日)までの期間中、岡山県電子申請サービスにおいて受け付ける。

八 その他

1 試験の実施方法その他試験に関する事項については、受験案内に記載する。

2 受験申込書及び受験案内は、岡山県警察本部警務部警務課、県内各警察署、岡山県人事委員会事務局等で交付する。なお、郵便で請求する場合は、百四十円分の切手を貼った返信用封筒を必ず同封すること。また、岡山県人事委員会事務局のホームページからもダウンロードすることができる。

3 受験資格の有無及び受験申込書の記載事項を確認するため、必要に応じて、証明書等の提出を求めることがある。

4 六一(1)の採用候補者名簿に記載された場合であっても、受験申込書等の提出書類の記載事項(インターネットによる受験申込みの場合の入力事項を含む。)に虚偽のものがあると認められるときは、採用候補者名簿から当該者を削除する。